

かちまいスポーツ

全国優勝を果たしたオール十勝



軟式野球
少年軟式野球の第6回C

BS「6年生選抜大会」全
国大会（7～9日、千葉県
勝選抜「ALL TOKA
田英史監督、選手12人」が、

オール十勝
全国初優勝

少年軟式野球CBS6年生選抜大会

ちカチスマイルレインボ
 〓監督＝吉田英史（と
 〓）
 〓▽コーチ＝渡邊慎二
 （新得町少年団） 桜井信
 樹（明和ブルースンダー
 ズ）
 〓▽選手＝斉藤泰主将
 （ウェストマリナーズ）
 〓渡邊元陽（新得町少年団）
 〓今野元陽（芽室ジャガー
 ズ） 鈴木虎之介（音更ヒ
 ックススターズ） 在原晴
 （札内南ライオンズ） 横
 山丈一郎（中札内ハワー
 ズ） 白濱大知（音更ヒッ
 グスターズ） 小瀬遙（緑
 陽台） 下音重連合 桜井
 奏翔（明和ブルースンダー
 ズ） 成田豊（同） 小畑
 玄鬼（音更ヒックスター
 ズ） 加藤文琉（本別レッ
 ズ）

中学で活躍へ大きな弾み

優勝の快挙を遂げた。予選を3連勝で突破。準々決勝と準決勝は1点差ゲームを制し、決勝はいわきサンシャインズ(福島県)いわきを6-1で下した。今春、中学生として新たな野球のステージに進む選手らが、全国の舞台で大きな弾みをつけた。

(新井拓海)

エース成田MVP

入成田MVP

1点リードで迎えた「一回」死壘塁の場面、8番打者・一撃が大きかったと吉田在元の打球は左翼越えの適時三塁打に。3-0と大きく流れを引き寄せ、「この一撃が大きかった」と吉田監督はたたえた。守つては大会MVPで今大会無失点のエース成田塁（緑丘）が投球イニング制限で登板できなかったが、加藤丈琉本塁打、小瀬遙（下音里）の投手リレーで最少失点に抑えた。決勝の先制打に加え、大会を通して高い打撃力を発揮していた「爆発していた」（吉田）

【Aグループ予選・ALL TO KACHIー中台クラブ】力強い投球を見せる十勝のエース成田 塁。大会MVPに輝いた



田監督は「いっぺんは、準決勝ではランニングホームランで決勝点を奪うなど」、敢闘賞を受賞。斉藤奏主将（帯西）も大会を通して2本のランニングホームランを放ち、「日替わりのヒーローが出た」（吉田監督。大会3日間で、各選手が役割を果たし、全国優勝の栄光をつかんだ。

吉田監督は「今までそれぞれ別のチームで主役だった選手が、今回で助け合うことに気づいてくれたと思う。遠征で仲間の結びつきも深まった。次の野球人生と目標に向けて頑張ってい

弘前市ボーイズ（青森県）	002000	42
ALL TOKACHI	004000	42
【A】成田、今野、渡邊（五回時間切れ）		
小畑		
△本塁打▽斉藤（A）		
▽二塁打▽川村（弘）		
魚沼スタース（新潟県）	001000	40
ALL TOKACHI	001030	40
【A】成田、加藤、渡邊		
加藤、小畑、斉藤		
▽本塁打▽ナメント		
△決勝トキナメント		
盛岡市選抜	001000	10
（若手県）	001000	10
ALL TOKACHI	001000	10
【A】成田、小畑		
▽準決勝		
北総選抜（千葉県）	200000	21
ALL TOKACHI	200000	21

	しい」と背中を押した。 (新井拓海)	【A】今野 △本塁打 ▽二塁打	池田(北)	渡邊 小畑
◇「予選リーグ」 ◇アフロック	TOKACHI ALL	鳥県	いわきサンシャインズ(遠)	決勝
中台クラブ(東京都)	0002001 0002001 03	ALL TOKACHI	1020100 1221X 61	加藤 渡邊 小瀬
△成田、今野、小畑 ▽二塁打+加藤2、成田	(A)	原、斎藤、小瀬(A)	在	

帯大谷男女決勝へ

バドミントン

全国高校選抜
北北海道予選

パドミントン第35回
高校生大会兼第1回全国
高校選抜大会北北海道予選
会（道パドミントン協会主
催）第1日は19日、ゆ葉
アリーナ十勝で男女の団体
戦準決勝までを行った。男
子は3大会ぶりの優勝を目
指す帯大谷（十勝1位）が
準決勝で稚内大谷を3-0
で下し、決勝進出を決めた。
帯柏葉（同3位）は準決勝
で旭川実に敗れて3位だっ
た。女子は連覇を狙う帯大
谷（1位）は準決勝で旭川実
に0-3と力負けしたが、準々決
勝の白糠戦は第3シングルス
（S）までもつれる接戦を
3-2で制するなど個々の力
を發揮した。

帯柏葉男子は3位 3年連続

3年
連続



つ武下佳司(右)。後衛は澤沼蒼太郎主将。

帯南商女子 8強に手応え

格上相手に
互角の戦い



【女子団体準々決勝・帯南商一旭川実】強豪相手に1ゲームを奪った帯南商1年の（右から）石田朱里・武下亜美組。攻撃的なプレーが光った。

（…）帯南商に渾々決勝で強豪旭川実にも0-3と敗れはしたが、格上相手に真つを繰り広げた。

1年生の石田朱里・武下

名(同一人)は第1回優勝。丸川商を3—1で破り、男女そろって決勝。そのほか、帯南商(同2位)と帯柏葉(同4位)が8強だった。男女の団体決勝は第2日の20日午前に行われ、帯大谷は男女ともに旭川実と対戦した。(小野寺俊之介)

第1タブルス(D)の道見北斗・津村凌生組1年(は、ストレート負け)も第2ゲームはジュースまで持ち

近き料理を見せた。第2回の澤沼章太郎主将・武下伴三(2年)は両ゲームとも21—19で競り勝ち、シシグールの3試合は第1Sの武下廉次郎(1年)と第3Sの武下が取った。

昨年4月に技術指導を叩つていた阿部卓教諭が転勤。自分たちで練習メニューを組むことにし、「何をすればいいのか。少し不安だった」と澤沼主将。それでも、中学時代に成果の

[illegible][illegible]

勝杯

アイスホッケー

Ｂ

(19日・笹の森アイスアリーナ)
 ◇1部
 TEAM
 錦華園・26 (8 2 2)
 幕別
 ◇得意者 [Ｔ] 香田10、今城6
 加藤2、早川2、細田2、沼澤2、
 加藤、佐藤1 [あ] 田中3、西谷
 熊合
 ◇シスコ [あ] 加藤6、細田6
 沼澤2、阿部2、香田4、今城2、
 早川2、佐藤1 [あ] 早坂、田中
 9
 西谷、太全
 ◇反則 [Ｔ] 1 [あ] 0
 ◇シスコ数 [Ｔ] 88 [あ] 36
 ◇2部
 チーム猫大 不戦勝 チーム衣・
 J 大

写真がほしい▼0120・25・9410 ファクス▼0155・25・2700
著作権などにより販売できない写真もあります Eメール▼sports@kachimai.co.jp



電子版に
複数写真
無料